

介護保険システム等標準化検討会 合同ワーキングチーム

第2回議事概要

日時：令和6年11月1日（金）13:30～14:30

場所：日本コンピューター株式会社 東京本社会議室 及び WEB 会議

出欠（敬称略）：

（構成員）

出席	生田 正幸	関西学院大学 大学院人間福祉研究科 講師（非常勤）
出席	後藤 省二	株式会社地域情報化研究所代表取締役社長
出席	西山 友啓	川口市福祉部介護保険課 主事
欠席	阿天坊 麻里	川口市福祉部介護保険課 主査
出席	中山 亮	川口市福祉部介護保険課 主任
欠席	大久保 直人	板橋区健康生きがい部介護保険課資格保険料係 副係長
欠席	栗原 由芽	板橋区健康生きがい部介護保険課給付係 主事
出席	福川 拓郎	川崎市健康福祉局長寿社会部介護保険課 係長
出席	関 大介	川崎市健康福祉局長寿社会部介護保険課 係長
出席	松本 享	川崎市健康福祉局長寿社会部介護保険課 係長
出席	鷹野 駿	甲府市福祉保健部保険経営室介護保険課保険給付係 主事
出席	廣瀬 麻衣	甲府市福祉保健部保険経営室介護保険課認定係 主任
出席	加藤 瞳子	甲府市福祉保健部保険経営室介護保険課保険給付係 主事
出席	川上 正暁	出雲市健康福祉部高齢者福祉課 係長
出席	美谷 知彦	出雲市健康福祉部高齢者福祉課 主幹
出席	磯川 朋子	出雲市健康福祉部高齢者福祉課 係長

（オブザーバー）

欠席	千葉 大右	デジタル庁 地方業務標準化エキスパート
出席	池端 桃子	デジタル庁 地方業務標準化エキスパート
出席	米田 圭吾	デジタル庁統括官付参事官付 参事官補佐
出席	津田 直彦	デジタル庁統括官付参事官付 参事官補佐
出席	山田 貫才	デジタル庁統括官付参事官付
欠席	丸尾 豊	総務省自治行政局住民制度課デジタル基盤推進室 課長補佐
出席	中川 瑛	総務省自治行政局住民制度課デジタル基盤推進室 課長補佐
出席	飯野 一浩	厚生労働省大臣官房情報化担当参事官室 室長補佐
欠席	島添 悟亨	厚生労働省保険局診療報酬改定DX推進室 室長 大臣官房情報化担当参事官室 室長補佐 併任 保険局保険課 課長補佐 併任
出席	渡邊 圭彦	社会・援護局障害保健福祉部 アドバイザー 厚生労働省老健局介護保険計画課 課長補佐

欠席 池谷 航 厚生労働省老健局介護保険計画課 企画法令係長
出席 中山 ちひろ 厚生労働省老健局介護保険計画課
出席 古賀 和輝 厚生労働省老健局介護保険計画課

【議事次第】

1. 開会
2. 標準仕様書第4.0版改定案の検討
3. その他

【議事概要】

○構成員意見

- ・資料3の検討論点4「総合事業における継続利用要介護者への対応」について、対応内容の説明で対象者が少ないという説明であったが、制度を作成する際に厚生労働省にて予測していた利用者数との違いがどの程度なのか聞かれている範囲で構わないので教えていただきたい。
- ⇒（事務局）担当課からは介護保険部会等で事業対象者が要介護になったときに総合事業を利用できなくなることへの違和感から総合事業を継続利用できるようにしてほしいという意見があったと聞いているが、具体的な予測数までは確認できていない。今回の対応にあたり、ベンダに費用対効果の観点から確認したところ、ベンダがヒアリングした自治体では少なかったということは確認している。制度が始まることで利用者が増える可能性はあり、また、要支援者や事業対象者が加齢とともに要介護状態が重くなることで利用者が増える可能性もあり得ると考えている。今後、対象者数が増えていくことで自治体の介護保険事務が煩雑になるのであれば、システムに求める機能も考える必要はあると思うが、現状、標準化への移行時期と重なっていることや対象者数も少数であることから、必要最低限の機能を要件とすることで担当課と調整している。
- ⇒（構成員意見）了解した。標準化が進んでいく中で、全体で機能の整理や統合を図りながら、今後も機能の追加や改良が行われていくものとする。機能の追加や改良を行う上で定量的に分析しながら効果の高いものから行っていく等を原則として押さえておくことが場合によっては必要なのではないかと思う。

以 上